

2023年3月期 第3四半期決算説明(電話会議) Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外の CKD 中国工場の現在の状況

A: いずれの工場も高い稼働状況です。

Q: 機器 3Q業績

A: 部材調達の一部改善に伴う生産性の向上や円安傾向による為替の影響などにより、2Q対比で増益となりました。

Q: 商品の販売価格

A: 資材コストの高騰分を国内外のお客様にご理解いただきながら、販売価格の改定に取り組んでおります。

Q: 機器 半導体 需要動向

A: メモリ関連が調整局面に入ってきております。一方、ロジック関連と車載向け半導体は一部で弱含んではおりますが堅調な状況が続いております。足元では色々な動きがございますので注意深く見ております。

Q: 自動機 今後の見通し

A: 事業環境は回復傾向にありますので、包装、産機とも引合いが増えてきております。

Q: 設備投資 見通しと考え方

A: 今期からスタートさせた第5次中期経営計画では4年間で600億円規模の投資を「成長投資」と「基盤強化」に振り分けて実施してまいります。今期計画の120億円には、四日市工場や春日井工場の設備増強などに加え、昨年12月に東北工場に隣接する工場の土地・建物を取得したことも含まれております。来期は成長投資のタイミングも見ながら、中長期的な目線で判断して投資していきたいと考えております。